

2022年7月17日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11時からは録画を視聴できます。

7月17日 聖日礼拝		前奏		招詞 ヨハネ6章35節		「わたしがいのちのパンです。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渴くことがありません。」		アーメン	
会衆賛美 聖歌29		会衆賛美 大いなる方に		交読 詩篇1篇1～6節		礼拝祈禱		使徒信条	
聖書朗読 出エジプト記 5章1～23節		説教 混乱の王との戦い 荻野泰弘牧師		会衆賛美 聖歌160		献金		頌栄 聖歌376	
祝祷		報告		後奏		感謝祈禱			

■聖歌29「たたえまつれ」

- ①たたえまつれ 王にいます主を 肉と霊の病い癒す主を
近づけ きみがそばへと 歌を歌いつつ
- ②たたえまつれ 世界すぶる主を 翼のべて民を守る主を
祈りに 耳をかたぶけ こたえたもう主を
- ③たたえまつれ なすわざを祝し いと良きもの常に満たす主を
新たに 思い見よ主の 深き御恵みを
- ④たたえまつれ わがうちのものよ たたえまつれ 生けるものよ主を
うれしき 歌の声にて 御座の揺るぐまで

■「大いなる方に」

大いなる方に 感謝ささげます 御子キリストの 愛のゆえに
聖なる方に 感謝ささげます 御子キリストの 愛のゆえに
今 弱い者よ 叫べ 勇士だと 勝利の主が ともにおられる
今 貧しい者よ 叫べ富んでいると 恵みの主が ともにおられる
感謝します

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名^{みな}をあがめさせたまえ。御国^{みくに}をきたらせたまえ。御心^{みこころ}の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用^{にちよう}の糧^{かて}を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを こころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇1篇1～6節

1 幸いなことよ

悪（あ）しき者のはかりごとに歩まず罪人の道に立たず
あざける者の座に着かない人。

2 主のおしえを喜びとし

昼も夜も そのおしえを口ずさむ人。

3 その人は

流れのほとりに植えられた木。

時が来ると実を結び

その葉は枯れず

そのなすことはすべて栄える。

4 悪（あ）しき者は そうではない。

まさしく 風が吹き飛ばすもみがらだ

5 それゆえ 悪（あ）しき者はさばきに

つみびとは 正しい者の集いに

立ち得ない。

6 まことに 正しい者の道は主が知っておられ

悪（あ）しき者の道は滅び去る。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 出エジプト記5章1～23節

- 1 その後、モーセとアロンはファラオのところに行き、そして言った。「イスラエルの神、主はこう仰せられます。『わたしの民を去らせ、荒野でわたしのために祭りを行えるようにせよ。』」
- 2 ファラオは答えた。「主とは何者だ。私がその声を聞いて、イスラエルを去らせなければならないとは。私は主を知らない。イスラエルは去らせない。」
- 3 彼らは言った。「ヘブル人の神が私たちと会ってくださいました。どうか私たちに荒野へ三日の道のりを行かせて、私たちの神、主にいけにえを献げさせてください。そうでないと、主は疫病か剣で私たちを打たれます。」
- 4 エジプトの王は彼らに言った。「モーセとアロンよ、なぜおまえたちは、民を仕事から引き離そうとするのか。おまえたちの労役に戻れ。」
- 5 ファラオはまた言った。「見よ、今やこの地の民は多い。だからおまえたちは、彼らに労役をやめさせようとしているのだ。」
- 6 その日、ファラオはこの民の監督たちとかしらたちに命じた。
- 7 「おまえたちは、れんがを作るために、もはやこれまでのように民に藁を与えてはならない。彼らが行って、自分で藁を集めるようにさせよ。」
- 8 しかも、これまでどおりの量のれんがを作らせるのだ。減らしてはならない。彼らは怠け者だ。だから、『私たちの神に、いけにえを献げに行かせてください』などと言って叫んでいるのだ。
- 9 あの者たちの労役を重くしたうえで、その仕事をやらせよ。偽りのことばに目を向けさせるな。」
- 10 そこで、この民の監督たちとかしらたちは出て行って、民に告げた。「ファラオはこう言われる。『もうおまえたちに藁は与えない。おまえたちはどこへでも行って、見つけられるところから自分で藁を取って来い。労役は少しも減らすことはしない。』」
- 12 そこで民はエジプト全土に散って、藁の代わりに刈り株を集めた。
- 13 監督たちは彼らをせき立てた。「藁があったときのよう、その日の仕事を仕上げよ。」
- 14 ファラオの監督たちがこの民の上に立てた、イスラエルの子らのかしらたちは、打ちたたかれてこう言われた。「なぜ、おまえたちは決められた量のれんがを、昨日も今日も、今までどおりに仕上げないのか。」
- 15 そこで、イスラエルの子らのかしらたちは、ファラオのところに行って、叫んだ。「なぜ、あなた様はしもべどもに、このようなことをなさるのですか。

- 16 しもべどもには藁が与えられていません。それでも、『れんがを作れ』と言われていきます。ご覧ください。しもべどもは打たれています。でも、いけないのはあなた様の民のほうです。」
- 17 ファラオは言った。「おまえたちは怠け者だ。怠け者なのだ。だから『私たちの主にいけにえを献げに行かせてください』などと言っているのだ。」
- 18 今すぐに行って働け。おまえたちに藁は与えない。しかし、おまえたちは決められた分のれんがを納めなければならない。」
- 19 イスラエルの子らのかしらたちは、「おまえたちにその日その日に課せられた、れんがの量を減らしてはならない」と聞かされて、これは悪いことになったと思った。
- 20 彼らは、ファラオのところから出て来たとき、迎えに来ていたモーセとアロンに会った。
- 21 彼らは二人に言った。「主があなたがたを見て、さばかれますように。あなたがたは、ファラオとその家臣たちの目に私たちを嫌わせ、私たちを殺すため、彼らの手に剣を渡してしまったのです。」
- 22 それでモーセは主のもとに戻り、そして言った。「主よ、なぜ、あなたはこの民をひどい目にあわせられるのですか。いったい、なぜあなたは私を遣わされたのですか。」
- 23 私がファラオのところに行って、あなたの御名によって語って以来、彼はこの民を虐げています。それなのに、あなたは、あなたの民を一向に救い出そうとはなさいません。」

■聖歌160「キリスト・イエスを基として」

- ①キリスト・イエスを もといとして うち建てられし み教会は
きみが血をもて かいたまいし 花嫁たちの 集まりなり
- ②言葉に色に ちがいあれど 御民（みたみ）の拝む 主ひとりなり
ひとつに生まれ ひとつに伸び ひとつに食し ひとつに生く
- ③主の教会は ころも受け 争いに あい なみだ すとも
その まぼろしを 主は よみして ついに 勝利を 与えたまわん
- ④この世と あめに わかれ すめど みたみは きよき 神にありて
ともに 交わり ともに待てり キリスト・イエスの きたる日をば

■頌栄 聖歌376「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン